

年間指導計画例 1 1・2年で週1時間、3年で隔週1時間

教育図書株式会社

週(時)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
第1学年	学習題材	第1章 材料と加工に関する技術(9)									第3章 生物育成に関する技術(9)									第1章 材料と加工に関する技術(15)																
	学習内容	ガイダンス(2)		1.ものづくりへの誘い			2.材料の特徴		3.製品の設計と製図		1.簡単な野菜づくり			2.作物の栽培I						3.製品の設計と製図			4.製品の設計				5.強さへの挑戦									
	授業時数	2		5			2		2		3			6						3			10				2									
	学習指導要領	/		/			/		/		/			/						/			/				/									
週(時)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
第2学年	学習題材	第2章 エネルギー変換に関する技術(8)							第3章 生物育成に関する技術(13)										第2章 エネルギー変換に関する技術(14)																	
	学習内容	1.エネルギー変換に関する技術		2.電気エネルギーの利用		電気回路のはたらき			2.作物の栽培II			2.作物の栽培III				3.動物の飼育		4.生物育成と環境		★インテリア・フットライトの製作			4.機械のしくみ		★ミニクリーナーの製作			5.エネルギーの問題を解決する技術								
	授業時数	2		3		3			6			3				2		2		6			2		4			2								
	学習指導要領	/		/		/			/			/				/		/		/			/		/			/								
週(時)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
第3学年	学習題材	第4章 情報に関する技術(18)																																		
	学習内容	1.ネットワークを支える技術							2.デジタルものづくり														3.コンピュータによる計測と制御						4.情報化ってなんだらう							
	授業時数	1	/	1	/	1	/	1	/	1	/	1	/	1	/	1	/	1	/	1	/	1	/	1	/	1	/	1	/	1	/	1	/	1	/	1
	学習指導要領	/							/														/						/							

【この年間指導計画例のポイント】

- ・3年間にわたり技術と家庭に均等に授業時間を割り振り、隔週で技術と家庭を交互に学習させる。
- ・作物栽培等の適時性を考慮し「生物育成に関する技術」を1・2年の1学期末から2学期中頃に配置し、「材料と加工に関する技術」と「エネルギー変換に関する技術」をその前後に分けて配置する。
- ・「情報に関する技術」を学齢の高い3年に配置し、密度のある課題を用意して情報活用の実践力を高める。
- ・技術と家庭のバランスを取りやすいが、1時間単位の授業で授業期間が長期になるため製作実習等を進める際に工夫が必要である。
- ・感染症などで実習の実施が難しい場合は、指導の順序を変更したり、学校や学校以外の場において代替の活動をしたりすることが考えられます。
- ・上記案では3年生時に「第4章 情報に関する技術」を掲載していますが、3年生も授業時数を18時間と想定し1,2,3,4章それぞれに対応できるよう各章の指導案を示します。